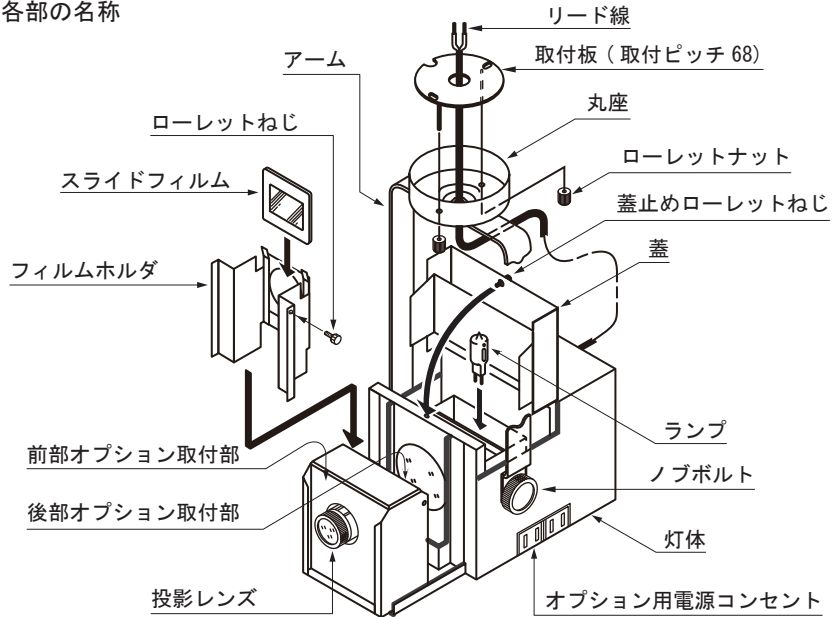


■ 取付方法

- 器具はできるだけ投影面（スクリーン）の真正面に来る様に取付けて下さい。斜めから投影しますと像が歪み、ピントが像全面で合わなくなります。
 - 器具の後面は空気の入取口、上面は吹出口になっておりますので塞がない様に注意して下さい。また取付時、壁面、天井から後面は 10 cm 以上、上面は 20 cm 以上離して下さい。
- ① 取付板を付属のねじで天井、壁等の補強材の入っている場所にしっかり取り付けます。
 - ② リード線を電源線に接続します。
 - ③ 丸座の穴に取付板のねじを通し、ローレットナットで固定します。

■ 各部の名称



■ 使用方法

● スライドフィルムの差込方法

スライドフィルムをフィルムホルダの本体とはねの間に上から差し込みます。その時フィルムは光源側から見てパターンが正しく見える（読める）様にし、更に天地を逆にして差し込みます。なお、フィルムホルダは横のローレットねじを外せば、取付ガイドから引き抜けます。

● ピント調節

投影レンズを回しながら出し入れすることによって行います。器具前方から見て右に回すと投影レンズは引込み、遠い所にピントが合い、左に回すと投影レンズは前に出て近い所にピントが合います。

● アタッチメントオプションのいろいろ

A: 『回転ディスク』

雲・雨・雪等の円盤状のパターンを回転しながら投影します。

雪の様にパターンを横に動かす場合はこの器具（EH-0301）が使用できますが、パターンを上下あるいは斜めに動かしたい場合は、EH-0302 をご使用下さい。

B: 『カラーホイール』

好みのカラーシートを何色でも自由な配分で貼り、色の演出ができます。

C: 『フィルム回転エフェクトシステム』

「三面体回転プリズム機構」と「フィルム回転機構」の組合わせで、投影像にさまざまな動きの変化を与えられます。

■ 電球の交換

● 使用ランプ

G6.35 ハロゲンランプ
JCD 100V300WT
電球単体平均寿命 300 時間

● 交換の手順

- ① 電源を切り、ランプが冷えるのを待ちます。
 - ② 蓋止めローレットねじをゆるめて蓋を開け切れたランプをソケットから引き抜きます。
 - ③ 新しいランプと交換します。
- ※ 交換は清潔な手袋をはめて行うのが理想的です。素手で行う時はランプに清潔な布を

まくか、ランプを包んでいるポリ袋の上から持つかして、ソケットを差込みます。

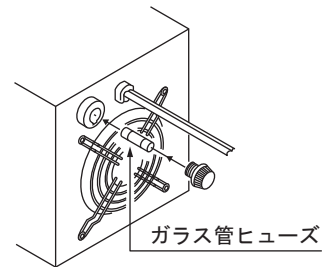
- ④ 蓋を閉めて、蓋止めローレットねじを締めして下さい。

● 交換上のご注意

- A: 電球交換は、電源を切り、ランプが冷えた状態で行って下さい。点灯中に切れた場合は、ランプが冷えるまで待つて交換して下さい。
- B: 点灯中に切れた場合、ヒューズも同時に切れることがあります。ヒューズの点検も同時にして下さい。

■ ヒューズの交換

ヒューズは必ず指定のものをご使用下さい。器具の保護として器具の後面にヒューズがあります。ランプが切れた時はヒューズを点検して下さい。またランプ切れでないのに電源を入れても点灯しない場合もヒューズを点検して下さい。



4 A カラス管ヒューズ φ6.4 L=30mm

■ 注意事項

● ファンについて

器具の冷却の為、ファンを内蔵しています。また、ファンが故障したとき、器具の過熱を防止する為に温度ヒューズを内蔵しています。ファンは信頼性の高いものを使用していますが万一故障しますと異常音を発生したり、温度ヒューズが働き電源を切りますので、この様な場合はお求めの販売店にご相談下さい。

● 保守と清掃

ほこりは柔らかい布でふき取って下さい。汚れがひどい場合は、水でしめした布を固くしぼって軽く拭き取って下さい。シンナー・金属みがき等は錆や変色の原因となりますので、絶対に使用しないで下さい。ランプ交換の時、器具内部のほこりのたまり具合を点検し、ひどい場合は掃除機等で吸い取って下さい。